

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和7(2025)年度第1回みよし市保健対策推進協議会		
開催日時	令和7(2025)年9月24日(水) 午後1時30分から午後2時30分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室3		
出席者	(会長)桜井充、(副会長)田代和久、(委員)清水美代子、石川邦子、藤田一良、伊藤 恵、富永涼輔、青木正也 (事務局) 木戸福祉部長、浅井福祉部次長兼福祉課長、井川保険健康課長、野々山保健師長、中川保健師長		
次回開催予定日	未定		
問合せ先	保険健康課 担当者名 野々山 電話番号0561-76-5880 ファックス番号0561-34-3388 メールアドレスhoken@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
	1 あいさつ 【事務局 井川保険健康課長】 (資料の確認) 【事務局 木戸福祉部長】あいさつ 【事務局 井川保険健康課長】 (欠席委員の連絡：島委員、戸田委員) (事務局自己紹介) 【桜井会長】あいさつ 【事務局 保険健康課長井川】 それでは議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては桜井会長にお願いします。 【桜井会長】 (本日の出席委員は8名、会議は成立) 2 議題 (1) 健康みよし21(第3次計画)について 【桜井会長】それでは議題に従いまして、議事を進めて参ります。議題(1)健康みよし21(第3次計画)について、事務局より説明をお願いします。 【事務局野々山・中川】 (健康みよし21(第3次計画)について説明) 【桜井会長】ただいまの事務局の説明について、ご意見ご質		

問がございましたらお願いします。

【藤田委員】計画の7ページに出生数と死亡数の推移についてのグラフがありますが、このグラフを見ると、次の世代には人口の逆転現象が起こるのではないかと考えています。みよし市もそれに合わせた対策を考えていく必要があると思いますがいかがでしょうか。

【事務局野々山】このグラフを見ていただくと、令和2年の出生数は496人、死亡数は369人で今後、出生数より死亡数の方が多くなると人口が減少していくのではないかとといったご意見かと思います。この計画は保険健康課だけではなく、庁内の多部署で連携して取り組んでいくものになりますので、出生数の減少の問題につきましても、併せて取り組んで参りたいと思います。

【桜井会長】みよし市においても国と同じ傾向があるのでしょうか、それともみよし市はまた別の傾向があるのでしょうか

【事務局野々山】みよし市も出生数が減ってはいますが、全国に比べると減少は緩やかではあると思います。

【藤田委員】若者が大学で県外に行っても、就職や結婚で戻ってきてくれるよう、PRをするような取り組みができると良いですね。

もう一つ質問させてください。9ページの評価についてですが、Dが「変化なし」または「悪化」とありますが、「変化なし」と「悪化」を別々の指標にした方が、どの指標が悪化しているのかわかりやすいのではないかと思います。

【事務局野々山】「変化なし」と「悪化」を分けた方が、より重点的に取り組むべきものがわかるのではないかと、といったご意見かと思います。次回からそのようにさせていただくよう検討します。

【田代委員】27ページ③の歯科健診受診率の増加についてですが、アンケート調査の結果によると歯科健診の受診率の高さが全体では57.7%、成人では58.1%、高齢者では57.3%と6割弱の人が年1回以上の定期的な歯の健診を受診していると記載されていますが、実際のところ受診率はどうなのかというと、市の健診においても受診率は20%台に留まっているように思います。このことについては、以前から歯科医師会と行政で考えていたことであり、健康マイレージ事業などを実施し、受診率向上を図った経緯もありますが、なかなか受診率が上がってこないと

いう現状があります。このことについては歯科医師会としても憂うべき案件ですので、改めて行政と歯科医師会とでお話をさせていただき、受診率の向上を目指していきたいと思いますのでご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【桜井会長】 歯科医師会と行政で検討していただきたいと思います。

【田代委員】 それに加えて、オーラルフレイルの認知度の向上につきましても、認知度を上げていくことが健診の受診率向上にもつながりますので、併せて必要なことであると認識しております。歯科医師会としても協力を惜しむものではございませんので、よろしくお願いいたします。

【桜井会長】 17 ページの項目⑤バランスの良い食事を摂っている者の増加については、県と比較するとみよし市ははっきり低いようです。これは意外な感じがしますが、市としてはどのような対策をされる予定でしょうか。

【事務局野々山】 バランスの良い食事が何かというところから周知していかなければならないと思っています。バランスの良い食事が何かというところが 17 ページの指標にもありますとおり「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が 1 日 2 回以上の日がほぼ毎日の者の割合」ということで、主食・主菜・副菜について、どのようなものを摂ったらよいのかといったことを広報で特集を組んだり地域の健康教育でお話したりしていますが、その場ではご理解されていますが、参加される高齢者におうちのご様子についてお話をうかがうと、朝食に菓子パンを食べておられるという話がよく聞かれます。皆さん、朝食に主食・主菜・副菜を組み合わせて食べるのが難しいのかなと感じています。こういったことから、今回、管理栄養士が作成したのがこのランチョンマットになります。どういうものが主食・主菜・副菜の食材になるのかと、一日に必要な乳製品や果物も摂っていただきたいということと、量もどのくらい食べたら良いかを例えば主食であれば 1 食分は片手の手の平に乗るくらいの量であるというのが、おうちに帰っても継続的にランチョンマットにのせていただいて、バランスの良い食事に取り組んでいただけることを願ひまして今回、ランチョンマットを作成し、取組みを推進して参りたいと考えております。

【桜井会長】 高齢者の食事内容に偏りがありそうでしょう

か。

【事務局野々山】朝食で主食・主菜・副菜を組み合わせるのが難しいというお声は健康教育などでよくお聞きすることが増えてきたように思います。もちろんバランスよく食べられている方もみえますが、年を重ねると食事をつくるのが億劫になってしまい、朝は手軽に済まされる方も多いようです。

ただ最近では自分で調理するというだけでなく、スーパーのお惣菜も色々な種類がありますので、できあいのものを組み合わせた食事についてもお話をさせていただいています。

【伊藤委員】今の17ページの項目⑤バランスの良い食事を摂っている者の増加が42.5%だったことについて、この数字は16ページの令和5年健康みよし21アンケートの結果だと思いますが、アンケートはどのくらいの人数の方でこういった年齢層の方が回答されたのでしょうか。

【事務局野々山】46ページからになりますが、一般、高齢者、こどもにアンケートを分けており、20歳から64歳までの方を無作為抽出して1,300名、65歳以上につきましては無作為抽出で700名の方にアンケートを送付させていただいておりますが、40～45%、高齢者は50%を超えた回答をいただいていたと思います。

【藤田委員】自殺対策計画についてお聞きします。73ページの図表9自殺死亡率の推移をみると、みよし市の自殺者数が平成27年と令和2年で下がっていますが、何か市が対策をしたのか、その時の時代背景がそうさせたのか、何か傾向について分析されたことはありますか。

【事務局中川】この年代で数値が下がっていることについて、特に明確なデータ等はありませんが、もともとみよし市の自殺者数が多くはありませんので、少し人数が減っただけでもグラフとして下がったように見えてしまうということはあるかと思います。

【藤田委員】特別な施策をしたというわけではないのですね。

【事務局中川】特に何か特別な施策を行って数値が下がったというわけではありません。

【藤田委員】難しい問題ですね。ありがとうございます。

【桜井会長】それでは本日の議題は以上となります。ありがとうございました。

【事務局 井川保険健康課長】ありがとうございました。

	本日報告いたしました「健康みよし21（第3次計画）」について、他にご意見がありましたら、保険健康課までご連絡いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。 以上で令和7年度第1回みよし市保健対策推進協議会を終了いたします。今年度の保健対策推進協議会は、今回1回のみの開催の予定としております。 来年度につきましては、「みよし市新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定の予定がありますので、複数回の開催を予定しております。 ありがとうございました。
--	--